

令和4年度

自己評価報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和5年5月

公益財団法人 中国四国酪農大学校

## 1. 学校の教育目標

本校は、実践教育による確かな技術と経営感覚に富む酪農の担い手の養成と、酪農を通じて地域社会への貢献ができる健全にして良識ある人材の育成をおこなうこととし、併せて、生命、食、環境を育む酪農の社会的意義や役割の普及啓発を通じて、酪農業の健全な発展に寄与することを目的とする。

教育理念

- ①経営感覚と確かな技術を持った人材の育成
- ②酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成
- ③社会人としての基礎力を備えた人材の育成

## 2. 令和4年度の重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①意欲ある学生の確保(県内外学校訪問・オープンキャンパス)
- ②学生個々の特性に合ったサポートの実施(学生生活・進路)
- ③運営体制の強化(乳肉複合による和牛子牛生産)
- ④酪農フィールド研修の充実(社会人)

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

回答者：14人、職員数：14人、回答率：100%

(評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

### (1) . 教育理念・目標

3.3

評価項目	自己評価平均
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3.6
・ 学校における職業教育の特色は明確か	3.7
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.2
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2.8
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.2

#### ① 現状・達成実績

酪農大定款及び教育規程に教育目的が定められており、教育理念については、大定款要覧に示している。

#### ② 課題と今後の改善方策

学校の理念・目的・特色・将来構想について、学校HPや学校便り等を活用して、学生・保護者、及び業界へ積極的に周知していく。

業界を取り巻く環境やニーズの変化、及び学生の将来目標の変化等を見極めながら、将来構想を定め、教育カリキュラムを見直していく必要がある。

#### ③ 特記事項

(2) . 学校運営

3.4

評価項目	自己評価
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.4
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.2
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.4
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.7
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.4
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3
・ 教育活動等に関する情報発信が適切になされているか	3.2

① 現状・達成実績

運営方針・事業計画は、理事会で審議し決定している。

運営組織や意志決定に係る規則、人事・給与に関する規程、教務・財務等に関する諸規程は整備されており、意志決定は理事会において行っている。

教育活動等の情報発信は本校ホームページ等で随時行っている。

② 課題と今後の改善方策

中・長期的な事業計画を明確化し、職員全体で共有していくことが重要であり、その実現に向けた人材の確保と育成を行う必要がある。

定年延長に向けた規程の整備が必要となっている。

③ 特記事項

(3) . 教育活動

2.9

評価項目	自己評価
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.0
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.8
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.0
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.7
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.5
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	2.8
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.5
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2.6
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.7
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.8
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.9
・ 職員の指導能力向上開発のための研修等が行われているか	2.6

① 現状・達成実績

カリキュラムの見直しが長期間実施されていない。

外部関係者による学校評価が実施できていない。

② 課題と今後の改善方策

時代の要請に適応したカリキュラムの見直しを適宜実施していく。

関係機関との連携強化を図りながら、教育内容の充実を図るとともに、教育人材の確保と育成に努める。

③ 特記事項

(4) . 学修成果

3.1

評価項目	自己評価
・ 就農・就職率の向上が図られているか	3.7
・ 資格取得率の向上が図られているか	3.5
・ 退学率の低減が図られているか	2.5
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.9

① 現状・達成実績

教務課の学生指導の取組により、就職率・資格取得率共に高いレベルを維持している。

R4年度退学率6%（50名中3名、R3年度退学率4.2%（47名中2名）

② 課題と今後の改善方策

学生の相談体制や卒業生のフォローアップ体制の強化が必要であるが、そのためには人員の補強が望まれる。

カウンセラーなど外部支援の体制を検討する。

③ 特記事項

## (5) . 学生支援

3.2

評価項目	自己評価
・ 就農・就職に関する進路支援体制は整備されているか	3.5
・ 進路選択・決定の早期意識付けができていますか	3.3
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	3.0
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.3
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.2
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	3.2
・ 保護者と適切に連携しているか	3.1
・ 卒業生への支援体制はあるか	2.8
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0

### ① 現状・達成実績

就職に関する進路相談は、ハローワークと連携して実施している。

学生に対する経済的支援については、就農準備資金（旧農業次世代人材投資資金）、日本学生支援機構の貸与型奨学金で対応しているが、国の高等教育の修学支援制度については、未だ認定を受けていない。

学生の健康管理は年1回の定期健診を実施しており、コロナ等の感染症発生時は湯原温泉病院の受診と校内隔離の実施で対応している。

### ② 課題と今後の改善方策

学生の相談体制や卒業生のフォローアップ体制の強化が必要であるが、そのためには人員の補強が望まれる。

経済的支援については、早急に体制を整備し、国の修学支援の対象校認定を受ける。

### ③ 特記事項

**(6) . 教育環境**

2.8

評価項目	自己評価
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.6
・ 学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.1
・ 防災に対する体制は整備されているか	2.8

## ① 現状・達成実績

施設・設備の老朽化が進んでいる。

分娩監視カメラや生体情報収集システム (Umotion) の導入などスマート機器の導入を図っている。

## ② 課題と今後の改善方策

老朽化が進む施設・設備の整備とともに、搾乳ロボットなど新技術の導入が望まれるが、現在の財務状況では独自での整備は困難であり、関係機関との連携強化により対応策を検討する必要がある。

将来構想に合致した施設整備と平行して人材の確保を進める。

## ③ 特記事項

**(7) . 学生の受入れ募集**

3.4

評価項目	自己評価
・ 意欲ある学生が確保できているか。	3.0
・ 学生募集活動(学校訪問・オープンキャンパス等)は、適正に行われているか	3.6
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
・ 農業高校との連携は図れているか。	3.3
・ 学納金は妥当なものとなっているか	3.5

## ① 現状・達成実績

令和5年度については、27名が受験し、27名が合格した。

コロナ禍で中断していた高校訪問は3年ぶりに実施した。(中国・四国・兵庫・大阪・京都・鹿児島を除く九州各県の農業高校)

オープンキャンパス(4回)・学校説明会(2回)を実施している。

学生納付金は、私立専門学校であるため、県立の農業大学校よりも高いが、短大や四大の授業料と同じ程度となっている。

## ② 課題と今後の改善方策

引き続き県内外の農業高校との連携を深めていく。

学生の進路希望は多様化し、意欲にも差が生じてきており、相応した対応が必要となっている。

学納金については、国の修学支援制度の対象校認定を受けられるよう早急な体制整備が必要。

## ③ 特記事項

**(8) . 財務****3.0**

評価項目	自己評価
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.6
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	3.7
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	3.7

## ① 現状・達成実績

資材飼料価格の高騰、燃料・電気料金の値上がりにより支出が大幅に増えており、財務状況は急激に悪化している。

会計監査は毎月税理士事務所による監査を実施し、毎年度監事による監査を受け、適正に実施している。

財務情報の公開は、専修学校の情報公開ガイドラインにより学校HP上に公開している。

牧場運営では、飼養管理や衛生管理の徹底により収益性の向上に努めているが、コスト上昇には追いついていない。

フィールド研修の受入を拡大するなど、限られた人員の中で最大限の事業展開に務めている。

## ② 課題と今後の改善方策

関係機関との連携強化により対応を検討している。

## ③ 特記事項

**(9) . 法令等の遵守****2.9**

評価項目	自己評価
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.4
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.9
・ 自己評価結果を公開しているか	2.3

## ① 現状・達成実績

学校自己評価は実施しているが、結果の公表は今年度から実施する。

## ② 課題と今後の改善方策

外部関係者の学校評価とともに自己評価結果を公表し、問題点の改善に取り組む。

## ③ 特記事項

(10) . 社会貢献・地域貢献

3.1

評価項目	自己評価
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.5
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.3
・ 地域・社会（関連業界）に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	3.5

① 現状・達成実績

社会人(全国酪農業協同組合連合会、オハヨー乳業他酪農関連団体) 向けの酪農フィールド研修を実施している。

岡山県家畜人工授精講習会・受精卵移植講習会、削蹄認定講習会、視察等の受入れを実施している。

② 課題と今後の改善方策

地元自治体である真庭市と連携して、学生のボランティア活動の推進を図るとともに、学校として地域活性化に向けた取組の充実強化を図る。

酪農フィールド研修の充実(カリキュラム・教育人材・教育施設等)により、関連業界への貢献を強化する。

③ 特記事項

4. 令和5年度の重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①意欲ある学生の確保(県内外学校訪問・オープンキャンパス)
- ②学生個々の特性に合ったサポートの実施(学生生活・進路)
- ③運営体制の強化(関係機関との連携強化・牧場生産性の向上)
- ④酪農フィールド研修の充実(社会人)

5. 自己評価委員会の開催

令和5年5月24日

自己評価委員名簿

委員長	校長	菱川 雅弘
委員	副校長	中村 浩三
〃	教務課長	関 哲生
〃	第1牧場長	高見 奈々
〃	第2牧場長	芦田 草太
〃	総務係長	有富 英美